

相手の国に行って3～4週間ホームステイをします。今年度はドイツ、カナダへ3名の学生が行ってきました。

一方長期派遣学生は7～8月頃に相手国の学生と交換で約10か月のホームステイをしながら地元の学校に通います。今年度はドイツ1名アメリカ2名、台湾1名でした。受け入れの4名と短期の3名は今度の地区大会に参加して挨拶をします。ロータリーの交換派遣プログラムは通常の留学プログラムとは質が違います。語学、文化を学ぶのは当然のことですが、ロータリーの目的にもありますが、世界平和を希求するという親善大使の役割を持って派遣されるわけです。中学3年生から19歳までが対象になっていますので、皆さんのご家族や大切な方に環境をあげていただきたいと思えます。

【卓話】阿賀野警察署長 横山晴章様



阿賀野警察署着任2年目です。こちらは職員が希望する警察署第1位ではないかと思えます。

このたびは防犯機能付き電話を10台寄付をしていただきありがとうございました。

阿賀野市の犯罪及び交通事故の現状についてお話しします。

1. 犯罪の発生状況

①犯罪の件数は増加していて、大半は窃盗です。60件のうち50件が窃盗です。自転車の窃盗を防ぐために、効果的な方法として阿賀野市のキャラクター「盗まれま仙女」（五頭山の4の峰の毘沙門天から）を使ったポスターを掲示しました。掲示して以降に自転車の窃盗が無くなり、鍵かけの率も良くなりました。

②特殊詐欺について

昨年はキャッシュカードを盗んで暗証番号を聞き出してお金50万円を引き出した件が1件、携帯に料金が未払いですというメッセージを送り架空料金60万円を請求する詐欺が1件ありました。

今年は今のところ発生していません。金融機関やコンビニで未然防止を3件してもらっています。県内では7月末までで特殊詐欺が3億円を超えています。

③最近多いのが「SNS型投資詐欺や「ロマンス詐欺」が増えていて、被害は4億円を超えています。中には1件で1億円を超える被害もありました。

特殊詐欺に合わないためには常に疑ってみるということです。防犯機能付き電話も有効です。

2. 交通事故の状況

交通事故は増えています。8月末までで30件（前年比+6件）事故死1人（前年比1人）負傷者30人（前年比9人）となっています。9月にも山口で1人死蔵事故が発生しています。取り締まりを引き締めていきたいと思えます。

全事故の47%が国道49号で発生しており、全事故の60%が高齢者です。加害者側に緊張感が無い場合が多い、交通ルールを

守っていれば事故を防げた場合が多いです。車を運転する方には初めてハンドルを握った時のことを思い出して緊張感を持っていただきたいと思います。交通ルールを守ることは命を守ることです。

市の回覧板に防犯のチラシを入れております。チラシの上に署員が考案の川柳を載せています。笑いを誘いながら防犯に役立てるかと思っています。

市民ひとりひとりが自分の身の安全は自分で守るという気持ちを持って、警察と行政が連携して防犯に努めていきます。